



堀江 和雄
(公明)



地域公共交通バス東大場分譲地線について

これからのバス路線について町内会・自治会の方との懇談がなされてきたが、令和4年度の運行形態と今後の課題を伺う。

A 町内会の意見を参考にしたルートを市の自主運行で、平日の朝と夕方はバス、平日の日中および土日祝日はジャンボタクシーで運行する予定。今後の課題は、公共交通を維持するために、地域が主体となった取り組みを地域とともに考えていくことと認識している。



奨学金返還支援制度について

制度の趣旨・目的・対象・返還の仕組みと令和3年度の利用予定状況を伺う。

A 若者のUターンや定住促進、人材確保を目的とし、本市出身で大学等卒業後、市内の中小企業に正規雇用されていることなどが要件となる。交付対象者として認定後、1年ごとに申請し、5年間で最大60万円を交付する。令和3年度の交付件数は6件となる見込みである。



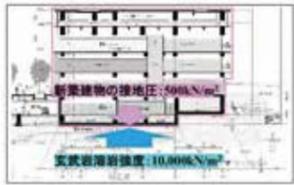
杉澤 正人
(無党派)



地下水検討委員会公開資料について その1

溶岩強度が高層物の接地圧との比率において20対1であるから安全と説明がなされたが、比率に基づいて安全性判断の根拠は何か。

A 一軸圧縮試験での4つの検体のうち、一番小さな値を示した溶岩の強度から地盤の耐力を計算したところ、建物の接地圧(建物の重量)に対し、地盤の耐力が上回っていることが確認されている。建物接地圧と地盤耐力の比率により判断しているものではない。



地下水検討委員会公開資料について その2

一軸圧縮試験ではわからない地下構造の脆弱性(ひび割れ・空洞・断層他)に関する調査資料は存在するものか伺う。

A これまでに実施した地盤調査結果等を踏まえて、今後、実施設計や構造計算が進められる。耐震性を含めた直接基礎の妥当性については、事業の進捗に応じた段階的に検討することとしており、今後の地下水対策検討委員会で耐震性の確認を行っていく。

他の質問事項

溶岩層・粘土層構造の調査手法



石井 真人
(改革みしま)



楽寿園へのPark・PFIの導入を

民間活力によるPark・PFI制度の導入状況と、園内を無料エリアと有料エリアに区分し、西門と南口を開放できないか伺う。

A Park・PFI制度の検討については、民間参入や入園無料化に影響するため、今後慎重に研究していく。有料・無料エリアの区分および西門・南口の開放については、園周辺の新たな方向性が示されたら、楽寿園運営委員会のご意見を伺いたいと考える。

県総合健康センターの今後の利活用を

災害時の指定避難所としての今後の在り方や、感染症発生時の臨時医療施設としての活用が考えられるが、三島市としての方針は。

A 静岡県では広域的な医療体制についてさまざまな検討がされており、緊急時の利用には、県医療救護計画との調整や、ヘリポート、災害拠点病院の三島総合病院との関係、関係団体との連携等の課題があることを、県に意見を求められた際には伝えていく。



他の質問事項

県総合健康センターを三島市で維持できないか



沈 久美
(政和会)



断捨離と終活の身近整理がしやすい三島へ

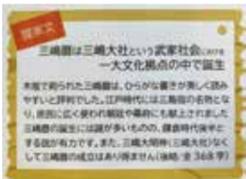
家庭の不要物を思い切って一掃する断捨離がよりスムーズに行えるよう、衣類等回収ボックスの増設を求めたい。見解を伺う。

A 拠点回収場所からの衣類の収集を業務委託しているため、一度に多くの増設は難しいところであるが、自治会からの要望があり、放火や持ち去りをされないよう回収ボックスを適切に管理できる設置場所を用意していただければ、増設について検討していく。

三嶋厓を北条義時に関連つけてPRするには

大河ドラマ「鎌倉殿の13人」主人公・義時への注目を契機に三嶋厓との関係を模索しPRにしたい。提案文について見解を伺う。

A 三嶋厓の成立については、その時期など現時点では正確な史実はわかっておらず、今後、新しい史料が発見される可能性もあり、見解は控えさせていただきます。三島市郷土資料館では、その成立は室町時代初めまで遡ることができ、江戸時代には三島宿のお土産となったと紹介している。



他の質問事項

国の子ども庁創設動向と市の子ども部局編成



岡田 美喜子
(新未来21)



地域コミュニティとしての商店会の在り方

商店会の解散や加入者の減少、長引く市民の自粛生活に、商店街に閉塞感がある。商店会の意義と今後の目指すべき姿について伺う。

A 商店街は、商品を購入するだけでなく、公共的な役割も果たすコミュニティの担い手となる存在であると認識している。魅力ある個店の連たんにより歩いて買い物を楽しむエリアとして消費者に必要とされ経済活動を生み出す空間となること重要であると考える。

住民目線のハザードマップへ

土砂災害警戒区域や避難所等が示されているが、自治会名の表記や色など、地図が苦手な人にも見やすいものに検討できないか。

A ハザードマップは、避難所となる学校や地区集会所、幹線道路、駅などの位置を表示し、自宅の場所を容易に確認できるようにしているが、次回の更新等の際に、現状よりも見やすく、慣れない方が見てもわかりやすくする方法がないか、受注業者等とも検討する。



他の質問事項

通学路の安全点検と暴風雨時の登下校の安全



藤江 康儀
(改革みしま)



大規模土砂災害を教訓に防災体制の強化を

山林等の伐採による太陽光発電システム設置許可の許諾の認識および設置計画申請の有無について伺う。

A 国が宣言した2050年までに脱炭素社会の実現を目指すには、再生可能エネルギー設備が必要不可欠である。今年度中に箱根西麓の自然環境等と再生可能エネルギー発電事業の調和に関する本市の方針を確定していく。大規模な太陽光発電事業の相談はない。

防災減災等のための都市計画の改正を

災害レッドゾーンやイエローゾーン区域の建設物の建設を都市計画の改正等により居住誘導区域に緩やかに誘導を図ってはどうか。

A 三島市立地適正化計画では、居住誘導区域にいずれのゾーンも含めておらず、20年間で緩やかに区域内に居住誘導し、よりコンパクトなまちづくりを進めていく。引き続き本計画やハザードマップの市民周知に努め、頻発・激甚化する自然災害に対応していく。

